



多文化サロン開催のお知らせ



令和2年度国際理解推進事業 多文化サロン

スイスは チーズ や チョコレート 以外にも 魅力が いっぱい
~More than chocolate and cheese~



講師:

ミシェル ペーターさん
(花巻市在住)



スイス出身のペーターさんから
チョコレートやチーズ以外にも魅力が
いっぱいのスイス文化や歴史について
紹介して頂きます。

今月は、私たち協会職員一同待ちに待った多文化サロンを開催します!

講師には、花巻市東和町在住のミシェル・ペーターさんをお招きし、スイスの文化や歴史についてお話しいたします。スイスは“More than chocolate and cheese”とのこと。チョコレートやチーズ以外にも魅力あふれるスイスについてお話が聞けますよ♪簡単なスイス-ドイツ語にも触れていただけます。

今回の講座は従来通りの料理教室とは違い、お話がメインとなっています。

また、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加される皆様にはマスク着用や検温等についてご協力いただけますようお願いいたします。先着順となっておりますので、お早めにお申し込み下さい。



日 時: 令和3年 2月13日(土)

AM 10:30~12:00



会場: 花巻市交流会館(旧空港ターミナルビル)
〒025-0004 花巻市葛3-183-1



対象: 花巻市に在住する方 15名



参加費: 一般 200円・賛助会員 100円



定員: 15名(先着順で定員になり次第締切)



持ち物: マスク(着用の上、ご参加下さい。)



申込方法: 電話、または窓口にてお申込み下さい。

※コロナ感染拡大により中止となる場合があります。

2/1

☆受付開始☆

申し込み・問い合わせ

公益財団法人花巻国際交流協会 電話番号: (0198) 26-5833



定住外国人支援事業

日本語学習支援ボランティア養成講座開講のお知らせ

令和2年度定住外国人支援事業

日本語学習支援 ボランティア 養成講座 全5回

定住外国人に
日本語を
教える活動に
参加しませんか？

☆日時および講座内容☆ 今年度から新たな試みで、WEB教材を使用した授業もあります。

過去の受講者も新たな手法を学ぶチャンスです。

- | | |
|-------------------------|-------------------------------|
| 第1回 2月18日(木) 18時30分~20時 | イントロダクション
サポーターの役割とは |
| 第2回 2月25日(木) 18時30分~20時 | 教材を使った実践1
「やさしい日本語」教材 |
| 第3回 3月4日(木) 18時30分~20時 | 教材を使った実践2
文化庁のWEB教材 |
| 第4回 3月11日(木) 18時30分~20時 | 教材を使った実践3
岩手県国際交流協会のWEB教材① |
| 第5回 3月18日(木) 18時30分~20時 | 教材を使った実践4
岩手県国際交流協会のWEB教材② |

- 場所 花巻市交流会館 (花巻市葛3-183-1 旧空港ターミナルビル)
- 定員 15名程度 (花巻市内在住の方) ● 受講料 無料
- 持ち物 スマートフォン又はパソコン (ポケットWiFiある方はご持参ください。)
- 講師 盛岡大学 文学部 准教授 嶺岸 玲子 先生
- 対象 ①日本語を教えてみたいと考えている方
②日本語サポーターズ「ステップ」の活動に参加できる方

昨年引き続き、盛岡大学准教授の嶺岸先生を講師にお迎えし全5回開催します。今回は岩手県国際交流協会が作成したWEB教材について学べる内容となっており、初めて受講する方だけでなく前回受講された方にも満足いただける内容となっております。

文化庁のWEB教材は、日本語で生活する外国人が日本語でコミュニケーションをとり、生活できるようになることを目指して作成されました。

岩手県国際交流協会のWEB教材とは、文化庁が作成した全国版の学習コンテンツでは扱われない「岩手の生活場面」に焦点を当てた日本語学習コンテンツとして作成されました。

この事業は、花巻の日本語教室の活動に参加できる方を探すことも目的としています。定住外国人の力になりたいと思っている皆様の申し込みをお待ちしています。



Report 「復興ありがとうホストタウン」ライトアップ

1月8日から17日までの10日間、花巻市の『復興ありがとうホストタウン事業』として、なはんプラザ屋外においてライトアップが開催されました。



今回のライトアップは、相手国である米国とオーストラリア共和国に感謝の気持ちを伝えることを目的に開催され、『復興』や『医療従事者応援』といったイメージを表現した色の組み合わせが約5分ごとに繰り返しライトアップされていました。

また『Twitter』と連携し特定のキーワードをハッシュタグと共にツイートすると、ライトアップの色を自由に変えることができる時間帯もありました。インターネットを通じて遠く離れた人と繋がれるような、そんな気持ちにしてくれる素敵なライトアップでした♪



Chika のインドネシア体験記



Chika プロフィール

現在 (公財) 花巻国際交流協会スタッフとして勤務
 2010年～2012年までの 2年間インドネシア共和国ゴロンタロ州ボアレモ県に栄養士隊員として派遣される。
 首都ジャカルタよりボアレモ県まで直線距離で約2,300 km。ジャカルタから飛行機で(約3時間) → ミニバスに乗り換え (約3時間) →ボアレモ県に到着

★インドネシアのある洗礼★

海外に行ったら生野菜・生水

に気をつけなさいと聞いたことはありませんか？インドネシアに入国して私ももちろん注意をいたしました。入国して最初の1カ月はジョグジャカルタ (ジャワ島にある第2の観光都市・有名なボロブドゥール遺跡がある) の語学学校に通いました。

とたんに私の身体に異変が、、悪寒・吐き気・下痢に襲われ、食欲もなくトイレとベッドを行ったり来たりの丸二日間。私を苦しめた犯人は氷でした。レストランで出されるジュースや水に入っている氷は、水道水がそのまま煮沸されていませんでした。(※製氷機を使っているレストランもある。)

やっと体調が回復した頃、隣の部屋にオランダ人カップルが語学学校に通うためにやってきました。2、3日すると食欲がないと言い始め、私も体験した音が部屋から夜通し聞こえてきました。スポーツ飲料をそっとオランダ人カップルの部屋のドアノブにかけ無事を祈りました。数日後、元気になった2人と互いの健闘をたたえ合いました。

この洗礼を受けて抗体？ができたのか、その後は食べ物や水に苦しむことはありませんでした。しかし1年後、タイの友人隊員を訪問するやいなや今度はタイの洗礼を浴びてしまいました。インドネシアとタイの菌は別物だったのです！！



★2年間慣れなかったトイレ事情★

下水道はなく、トイレの汚水は溝を流れて川に流れていくシステム。トイレトーパーはゴミとして捨てられますが、日本人の私はゴミも近隣住民から覗かれるのでティッシュもおちおち使えません。そこで現地の人になってマジックハンドを使いました。マジックハンド、それは通称「黄金の左手」です。つまり、左手がトイレトーパー代わり。水槽から右手のひしゃくで水槽の水をすくい、左手で洗い流すシステムです。まさに手動のウォシュレット。



ホストファミリー宅では平気なのですが、外出時は一苦勞です。できるだけトイレに行きたくないの、7時間くらいは我慢していました。大と小で使うトイレが分けられ、大の場合は便器を使用しますが、小の場合は何も無い斜めになったタイルが貼ってある床にします。ズボンのすそをたくしあげサンダルに履き替えます。用を終えたらひしゃくで水をかけて流します。もちろんこれは田舎だけの話、都会や観光地では日本とほぼ同様のシステムですのでご安心を。



★旅行に役立つ？豆知識★

インドネシアのトイレは洋式風と和式風の2種類です。しかし紙は流さず横に備え付けのゴミ箱に。公共トイレで時々ゴミが山盛りになっていますが、ジェンガの要領で器用に

載せるべし。ほとんど洋式風で本体や側にホースがついており、これがインドネシア式のウォシュレット。先端部分のレバーを握ると小型のシャワーのようなものから水圧が高めの常温の水が出ます。結果、失敗すると便座や床がビョショビショに。空港やショッピングモールのトイレで時々そんな悲惨な現場に出くわします。



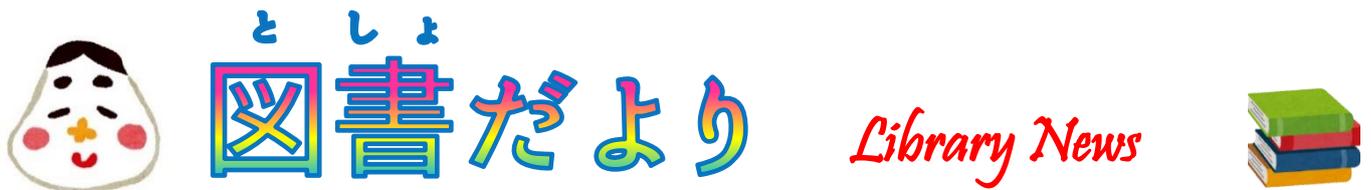
お勧め対処法は、靴が濡れないよう足のポジションを決め便座にお尻をつけず中腰スタイル。めったに遭遇しないけれど和式風もあり日本としゃがみ方が逆、壁に背をむけて用を足す。便器の横がギザギザになっていて、それは足の滑り止め防止ですがそれすら滑るので要注意。用を終えたらレバーを押して流す。

ローカルなショッピングモールや市場・地方の空港のトイレで、ペーパーはなく水桶とひしゃくだけのタイプに出くわしたら、腹を決め私の記事を思い出し乗り越えてください。(笑) これであなたもトイレマスター、どこの国を旅しても困ることはないでしょう。

★おさらい★

①レストランで飲み物を注文するときは、ペットボトル入りをたのみましょう。グラスで出される飲み物は氷入りです。

②インドネシアで左手が不浄とされる理由は、トイレで使うから。左手で人に物を渡さないようにしましょう。



当協会では、一部の本の貸し出しをおこなっております！是非、交流会館まで足をお運びください。
※尚、雑誌はバックナンバーのみ貸し出しいたします。(2週間)

＜定期購読雑誌 最新号の内容＞

• Hiragana Times –ひらがなタイムス–

「日本のメディアのスタンス」

• News Week 日本語版

「バイデン二つの選択」

• ENGLISH JOURNAL (CDは館内でのみ貸出可能)

「ネイティブに一発で通じるLとR」



※「この本を入れて欲しい」「こんなテキストがあったらいいな」という皆さんの声をお聞かせください。

問合せ先

〒025-0004 岩手県花巻市葛第3地割183番地1
TEL : 0198-26-5833 FAX : 0198-26-5855
E-MAIL : kokusai_staff_c@ext.city.hanamaki.iwate.jp

HP : http://hanakokusai.wordpress.com

開館時間 : 8:30~17:30 休館日 : 土日祝祭日、年末年始

